

2017年 10月 13日

各 位

株式会社 三井住友銀行

SHO - B I 株式会社に「S M B C なでしこ融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：高島 誠）は、SHO - B I 株式会社（代表取締役社長：寺田 正秀）に対し、「S M B C なでしこ融資」を実施致しました。

「S M B C なでしこ融資」は、融資実行時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く融資商品です。

今回対象となりました、SHO - B I 株式会社に対する診断結果は、今後、女性活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」となりました。

特に、SHO - B I 株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

2017年度に初めて、部長職以上へのダイバーシティ研修、マネージャーへの管理職研修を実施。社内の年代別男女比率を用い、会社の発展には女性管理職の登用が必要であることを数値で示す等、女性活躍推進への社内理解を促進。

現在、デザイナー職である契約社員を2018年4月以降には正社員へ転換予定。

留学目的の一定期間の休職を認める制度や、家庭の事情等を理由とした離職後の復職支援制度を新たに整備。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向け、経営トップが、『SHO - B I は、女性社員活躍の推進に本気で取り組む』、性別や年齢に関係なく、強い思いとやる気を持った者が、活躍し評価される会社をめざす」と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、2019年3月31日までに、

- ・女性の平均勤続年数を8年以上とする。
- ・管理職に占める女性割合を10%以上とする。
- ・係長級の役職者に占める女性割合を15%以上とする。

とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ融資」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



同社で活躍する女性職員たち

() “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。